

## 第8回 IT を活用した教育センターワークショップを終えて



昭和大学歯学部 歯学部 片岡 竜太

平成 24 年度に採択された文部科学省の大学間連携共同事業「IT を活用した超高齢社会の到来に対応できる歯科医師の養成プログラム」も 4 年目が終わろうとしています。北海道医療大学、岩手医科大学および 9 つの歯科医師会が連携して、超高齢社会で活躍できる歯科医師を養成するために 3 年間にわたる教育プログラムの仕上げに取り組んでいます。第 1 段階は 3 年生に対して e-ラーニング教材を活用した「全身と口腔の関連についての基礎知識の修得」第 2 段階は 4 年生に対して、症例ベースの授業を VP（模擬患者）システムと e-ラーニングを活用して「臨床推論・コミュニケーション能力の養成」の授業を実際に行っています。現在第 3 段階として 5 年生に対して、第 1、第 2 段階で身につけた基本的な知識とその応用を基に、臨床実習（大学付属病院歯科口腔外科実習と地域歯科医療実習）を行うための準備を進めています。

11 月 26 日に、昭和大学旗の台校舎において、54 名が参加して IT を活用した教育センターワークショップを開催しました。開会式では 4 月に文科省の中間評価が実施され、本取組が A 評価（計画通りの取組）を受けた事が報告され、段階 1 と 2 が 3 連携校で必修授業として実施されている事が報告されました。

第 3 段階の 5 年生に対する教育としては、各大学で歯科医師会の協力を受けて実施している地域医療実習や有病高齢者を対象とした臨床実習をより充実したものにするために、以下の 3 つの教材を準備しています。1. 5 年生用復習用ライブラリー：第 3 段階を学ぶにあたり第 1、第 2 段階で学修した内容をしっかりと復習するための IT 教材。2. 症例課題：第 1、第 2 段階で学修した内容を基盤として、臨床実習で患者さんを担当する前に、シミュレーション学修を行うための症例課題。3. 電子ポートフォリオ：臨床実習で行った内容を振り返り、学びを深める。4 月から実施するために、WS における討論の内容を踏まえて準備を進めています。

今回の WS では第 1 段階から第 3 段階まで 3 年間の教育プログラムを実施するための、IT 教材の全容が明らかになりました。最後のセッションでは各大学と関連する歯科医師会の先生方で、教材案の見直しとともに、本教育プログラムをどのように実施して、「超高齢社会に対応できる歯科医師」を養成するかを検討してもらいました。次回は来年 6 月に本取組最後のワークショップ開催を予定していますが、本取組が歯科界の明るい未来を築く一助になればと切望します。

最後になりましたが、忙しい時期にも関わらずご参加いただいた各大学ならびに歯科医師会の先生方、そしてワークショップの運営にご尽力いただいた協力 IT 企業、ならびに各大学の事務関係者に心から御礼申し上げます。